



SSH通信2015

お待たせしました

Vol. 5 [H27.10.6]

SSH 夏休み~9月の活躍！ 特集号その①



☆ 英語プレゼンテーション講座中級 第2回 7月18日(土) 2-1 教室

参加者：2年SSクラス生徒

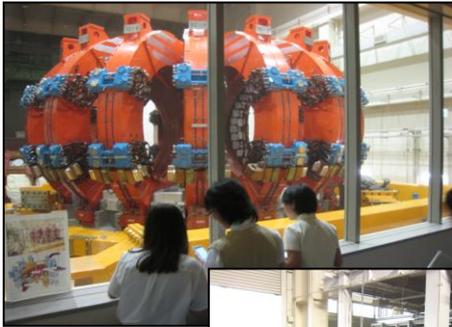
◎5/30(土)の第1回に続き、Gary & Sachiyo Vierheller (ガ イアラー・ギ ャー&幸代)先生を講師にお招きして、ポスタープレゼン実践と、さらに効果的な eye contact, gesture などの指導を受けました。

※11月には、1年生対象の「初級講座」が予定されています。ぜひ参加して下さい！



☆ 2年SSクラス夏季宿泊研修 in つくば 7月28日(火) 29日(水)

茨城県つくば市 日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所 高エネルギー加速器研究機構
参加者：2年1組物理選択者



1日目に那珂核融合研究所を見学した。ここでは太陽で起きている核融合反応を地上で実現し、エネルギーとして利用するための研究開発を行っている。資源が海水なのでエネルギーが枯渇することがなく、二酸化炭素を排出することもないという画期的なエネルギーである。2日目は高エネルギー加速器研究機構(KEK)を見学した。どちらも最先端の技術が結集しており、よい経験となった。

(2年1組 S・Y)



まずディズニーランドと同じくらい広い施設と、その地下をぐるっと一周してしまうほど大きな装置に驚いた。KEKでの研究は、宇宙関係の本には必ずといってよいほど掲載されているもので、そんな世界的に最先端の研究に触れることができ、とても貴重な体験となった。そして、こういった研究は、私たちの世代でも進めていかなければならないという責任感も生まれた。(2年1組 K・A)



☆ 2年SSクラス夏季宿泊研修 in 館山 7月28日(火)~30日(木)

千葉県館山市 お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センター
参加者：2年1組生物選択者

お茶の水女子大の研修施設で海の生物と触れ合い、深く学ぶことができた。特に2日目の磯の動物採集・観察では、2人1組となって生物たちを探して探して、見つけて、嬉しくて叫んで...と、とても楽しい思い出となった。日差しの強さに目がくらみながらも、夏の海と仲間と青春を満喫でき、充実した3日間だった。

(2年1組 T・K)



研修施設での臨海実習は、3日間本当に盛りだくさんの内容だったが、特にウミホタル採集や磯での採集で実際に海の生物に触れられたことが、私にとって素晴らしい経験になった。もっと採って同定したいと思った。その他にも、早朝海にでかけたり、友人とさらに親交を深めることができた。貴重な経験と思い出を得た充実した3日間だった。

(2年1組 M・H)



☆ バイオサミット in 鶴岡

8月2日(日)～4日(火)

山形県鶴岡市 慶應義塾大学先端生命化学研究所

参加者：3年1組生徒4名 「メダカを用いたコラーゲンの発ガン抑制効果の研究」

私たちは、今回ポスター発表(「メダカを用いたコラーゲンの発ガン抑制効果の研究」)を行った。それを研究者の方々が審査をし、賞を決定するという形式だった。残念ながら賞を取ることはできなかったが、一流の研究者の方から多くの助言を頂いたり、他校の生徒との交流を深めたりと、普段の学校生活では得難い体験ができ、とても楽しかった！
(3年1組 H・K)



☆ SSH 生徒研究発表会 in 大阪

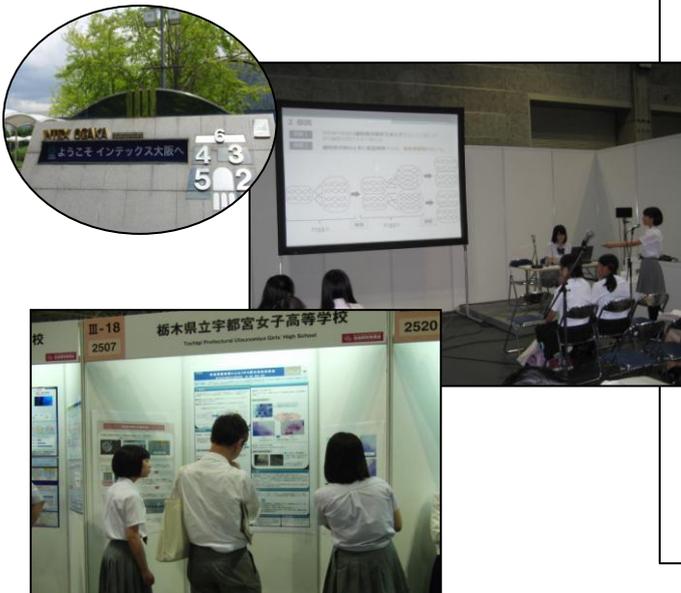
8月4日(火)～6日(木)

大阪府大阪市 インテックス大阪

参加者：3年1組生徒2名(発表)

2年1組生徒7名(見学)

「低温処理によるメダカ胚の染色体の倍加」



今回研究発表大会に参加させていただき、他校や海外の方たちと交流をし、また評価者からは厳しく、的確なご指導をいただくことができました。また、大勢の人々の前で発表や、説明をするための創意工夫など、新しい経験もできました。今回の大阪での人との出会いや経験は、特別で貴重なものとなった。
(3年1組 I・Y Y・R)

1日目にポスター発表、2日目に代表校のステージ発表を見学した。安価な装置を開発して竜巻の原理を解明したり、ハチミツから燃料を作り出したり、素晴らしい研究の数々に驚かされた。また、国外のレベルの高い研究発表を英語で聞いたことにはとても刺激を受けた。この2日目は、科学研究の今後の課題を明確にし、見やすいポスターの作り方、プレゼンの仕方などを学ぶよい機会となった。
(2年1組 N・A)

☆ SSH 指定女子高校研究交流会

8月11日(火)

東京都文京区 お茶の水女子大学

参加者：2年1組生徒12名

参加校：浦和第一女子高 熊谷女子高 川越女子高 前橋女子高 水戸第二高 宇都宮女子高

交流会では、大学と同じレベルの講義を受けた。また、大学生や大学院生に、日常のことから研究のことまで、様々な質問をすることができた。そして何より、他県のSSH指定女子高の生徒と交流ができたことが、この日の充実感を生んだ。研究や日々の勉強、学校生活等々の会話をしていくうちに、学問に対してモチベーションが高まった。自分ももっと頑張ろうと思った。実験、講義、研究発表、そしてご当地トークと、どれも本当に面白かった。

(2年1組 U・N)

